

令和7年度

大阪市「市民学習プログラム

企画」助成事業

報告書

学習プログラム事例集

まちづくり・市民学習応援コース

子育て・家庭教育応援コース



はじめに

社会の急激な変化に対応し、市民が人間性豊かな生活を営むために、現代的社会的課題や、地域社会の課題解決に向けた主体的な学習機会の創出が生涯学習に求められています。

大阪市では、生涯学習を通じて現代的社会的課題に取り組む市民グループやNPOなどを対象に、地域課題解決の学習プログラムを公募し、実施経費の助成や広報、報告会の開催などの活動支援を行うため、大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業を実施しております。

事業の運営にあたっては、実施団体相互のネットワークづくりに留意し、広く事業効果が得られるよう進めるとともに、成果については、区や地域(教育コミュニティ)で活用できるプログラムとしてとりまとめ、プログラムの活用促進を図っております。

令和7年度はAコース(まちづくり・市民学習応援コース)5団体、Bコース(子育て・家庭教育応援コース)3団体の計8団体に事業を委託しました。

本報告書は、それぞれの団体の取り組みをまとめたものです。本事業が、生涯学習のネットワークの広がりや、市民の生涯学習の新たな展開へとつながることを期待します。

令和8年3月

大阪市教育委員会
大阪市立総合生涯学習センター

令和7年度 大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業 実施団体・事業一覧

Aコース



まちづくり・市民学習応援コース

団体・グループ名	事業名	
あべの会	阿倍野発見！楽しく学ぶ歴史・文化講座	… 4
喜連ジュニアオーケストラ	初めて聴くオーケストラ～クラシックコンサートで知っておきたい基本知識～	… 6
Germoglio	音楽で広がる生涯学習プログラム～市民と楽しむ音楽体験～	… 8
特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっと	みんなで学んで・考える～多文化共生のまちづくり講座～	…10
特定非営利活動法人希望の居場所	シニアだってポジティブな心を持ってもいい。 若者と共に創るポジティブデザインプログラム	…12

Bコース



子育て・家庭教育応援コース

団体・グループ名	事業名	
おはなしボランティア アナンシ	子どもと本をつなぐストーリーテリング(楽しいおはなし)	…14
一般社団法人ニコウェイ	子ども食堂併設 café*nico*	…16
性と身体を考えるネットワーク	親子で学ぼう！大切な性とからだのこと	…18



阿倍野発見! 楽しく学ぶ 歴史・文化講座

あべの会

事業の
ねらい

阿倍野には古代の歴史遺産があり、現代に至るまで著名人、文化人の足跡があり、大変魅力的な地区である。この講座を開くことで市民の方々に阿倍野の歴史、文化を楽しく学んでいただき阿倍野の新たな発見、魅力を感じ、親しみを持ってもらい次世代につなげることを目的とする。

対象

どなたでも

定員

1,2,4回/100人、
3回/50人

申込
者数

478人

参加
者数

361人

1

8/9(土) 13:30~15:30

阿倍野の歴史・文化をさぐる

—あべの再発見! どうする阿倍野?—

講師

難波 りんご
(「農」に親しむライフスタイル推進府民会議 会長/天王寺蕪の会 事務局長
/難波葱の会 会長/阿倍野研究者)

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数 102名



2

9/20(土) 13:30~15:30

発掘調査からわかった阿倍野の歴史

講師

大庭 重信(大阪府文化財センター 主査/古代学協会 客員研究員)

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数 105人



3

11/9(日) 14:00~16:00

安倍晴明伝説と阿倍野

講師

長谷川 義晃(阿倍王子神社・安倍晴明神社 禰宜)

会場

大阪市立阿倍野図書館

参加者数 50人



4

1/17(土) 14:00~16:00

文学で描かれる阿倍野

講師

高橋 俊郎(帝塚山派文学学会 副代表)

会場

大阪市立阿倍野市民学習センター

参加者数 104人



参加者の声

- 自分が住んでいる阿倍野がこんなに面白いとは思わなかった。
- わかりやすく、楽しく阿倍野との関わりが手に取るように説明を受け、楽しかった。
- 今住んでいる阿倍野にこのような遺跡があることに驚いた。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

- ・あべの会の会員がボランティアで事前準備を行い、さらにこの講座の参加者の中からも協力者ができた。
- ・阿倍野区役所に協力いただき、広報掲載や、関連団体への周知ができた

事業全体の計画、学習内容・形態について

阿倍野の歴史全般、自然、考古学的視点、伝承、文学を4回の講座に分け、それぞれの専門家に講演いただくことにより、阿倍野の魅力幅広く感じてもらうよう工夫した。また、この事業のねらいである「楽しく学ぶ」を講座に反映できるよう講師の方々と事前に調整した。

地域や他団体・組織との連携について

阿倍野区役所市民協働課、教育支援部門と連携、また阿倍野自治連合会に周知を図れた。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

この講座を開催することにより、今まで認識されていなかった地域の歴史・文化がわかったとの声があり、阿倍野区在住の人が地元へ愛着を感じることに貢献できた。

また、阿倍野以外の人にも半数近く参加いただき、阿倍野の歴史・文化を理解いただくことができ、在住者以外の方にも、阿倍野の魅力を感じていただくことができた。

● 今後の課題と展望

令和7年度は、阿倍野の歴史・文化を幅広い市民の方々に学んでいただくよう概略的な講座を開催し、多くの方々に参加いただいた。令和8年度は、講義だけでなく講師と参加者間での意見交換を行い、さらに他地区の方々とも意見交換を行い、阿倍野の歴史・文化に魅力を感じる人の輪を広げることがをめざす。

あべの会

活動目的

阿倍野の歴史・文化・食に興味あるの方々を中心に会費無料で自由参加できる親睦団体で2015年に発足し、阿倍野及び関連する地域を中心に歴史、文化、食などを楽しく探索するとともに各方面の方々と交流を図ることを目的とする。

活動紹介

阿倍野区内の歴史、文化施設の見学、ヒアリングや、阿倍野区の歴史・文化に関連する地域を探索している。また、あべの学セミナーの開催、阿倍野の歴史・文化に関する冊子の発行などを行っている。さらに、他地区の活動団体と連携しイベント参加などを行っている。

活動開始時期

2015年4月

団体 構成員数

10人

連絡先

あべの会事務局 abenokai2015@gmail.com



A コース

初めて聴くオーケストラ

～クラシックコンサートで知っておきたい基本知識～

喜連ジュニアオーケストラ

事業の
ねらい

クラシックコンサートがあまり多くは開催されていない平野区の地域で、当団のメンバーに加えてプロの指導者および演奏家を迎え、オーケストラ・コンサートを開催し、広く市民の方に、クラシックコンサートになじみのない方も参加しやすい演奏会として、地域の情操教育、世代間交流および地域交流の活性機会を創出する。

対象 どなたでも

定員 400人

申込者数 130人

参加者数 123人
(子ども約50人)

1

12/6(土) 14:00～16:00

初めて聴くオーケストラ ドヴォルザーク 交響曲『新世界より』

～クラシックコンサートで知っておきたい基本知識～

講師 指揮: 崎谷 明弘 (神戸女学院大学 音楽学部音楽学科 准教授
兵庫県にゆかりの若手音楽家団体「音みらいHYOGO」代表)

会場 クレオ大阪南 大ホール

参加者数 123人



参加者の声

- クラシックの基礎やマナーが身につきました！
- 初めての方にやさしいコンサートだなと感じました。
- 演奏会のマナーを初めて教えていただきよかったです。
- 初めてのクラシックコンサートでしたが、マナーなども学べてとてもリラックスして楽しめました。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

- ・団長、相談役、司会、会計、広報等の各担当と方針修正会議を行い運営強化につなげた
- ・11月以降広報専任を置き単月Instagram投稿10件以上など広報体制を整えた

事業全体の計画、学習内容・形態について

- ・司会を入れ演奏会のマナー、楽器紹介、アンコールなどコンサートの流れに触れた
- ・実際に交響曲を始める前に有名な一節を聴いてもらうことで導入にも意識した
- ・楽器紹介を名前だけでなく有名な短い曲を取り入れることで身近さを意識した

地域や他団体・組織との連携について

- ・平野区の小中学校を実際に訪問し事業の案内をして回った。
- ・喜連東連合など地域のコミュニティに挨拶回りをして広報活動を行った。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

参加している子どもから、演奏中にも「この曲知ってる！」と声が出るほど有名な曲であるドヴォルザークの交響曲『新世界より』を、コンサートの基礎やマナーに触れながら全曲約45分通して鑑賞いただける機会を提供した。アンケートに「クラシックコンサートの基礎やマナーが身についた」との声をいただくこともでき、コンサート未経験の子どもはもちろん、大人においてもコンサートの基礎やマナーを改めて知る機会がなかった方へ、コンサートの流れやマナーを一から学んでいただく機会になったと考える。実際に音楽を聴く鑑賞の分野に対し、地域市民の学びにつながる事業となった。

● 今後の課題と展望

今回、チラシ作成やホームページ掲載など早めの広報活動を意識して活動を行ったが、SNS戦略および地域のコミュニティとの連携着手が遅くなり、目標よりも低い来客数にとどまった。アンケートでも是非また開催するときは参加したいとの声があり、次回開催時の広報注力方針は課題とする。また、当団団員の演奏レベルを上げることで外部演奏家の招集数を減らして経営面改善をしつつ団のコミュニティを広げることを展望とする。

喜連ジュニアオーケストラ

活動
目的

「音楽でつながる愛と希望のオーケストラ」として、平野区喜連の地域に密着し、子どもから大人まで、経験や国籍を問わず参加できるオーケストラ活動を行うことを目的としている。

活動開始
時期

2023年12月

団体
構成員数

26人

活動
紹介

2025年の主な活動実績

2月:平野区民ホールの子ども文化カーニバルに出演
7月:地域のイベント(灯火の夕べ)において、如願寺を舞台として地域のバレエ教室Ballet Class Decoと屋外コラボパフォーマンスを開催
12月:初めて聴くオーケストラ ドヴォルザーク 交響曲『新世界より』～クラシックコンサートで知っておきたい基本知識～を開催

ホーム
ページ

<https://kire-jrorch.moo.jp/>

SNS

https://www.instagram.com/kire.junior_orchestra/



音楽で広がる生涯学習プログラム ～市民と楽しむ音楽体験～

Germoglio

事業の
ねらい

「音楽×〇〇」をテーマに、音楽を通して各世代のニーズに応えるイベントを実施する。本事業は、「音楽文化振興」「市民の居場所、お出かけ先の提供」「市民の交流の場の提供」という3つの大きなねらいをもつ。

対象

- ①3～5歳児(保護者同伴)
- ②小学生以上
- ③⑥⑦どなたでも
- ④⑤60歳以上

定員

講座による
(50組～140人)

申込
者数

130人

参加
者数

96人
(子ども30人)

1

8/7(木) 14:00～15:00 ※中止
ペットボトルと紙パックで楽器を作って演奏しよう!

講師 宮崎 明子・荒瀬 美佳
藤原 涼(クラリネット)、小路 桂(ピアノ)、山崎 啓妙(司会)
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂

2

9/5(金) 19:00～20:00
Germoglio presents オトナのためのブックコンサート

講師 宮崎 明子(朗読)、藤原 涼・荒瀬 美佳(クラリネット)
小路 桂(ピアノ)
会場 大阪市立難波市民学習センター 講堂 参加者数 7人

3

9/6(土) 10:30～11:15
Germoglio presents おやこのためのえほんコンサート

講師 宮崎 明子(読み聞かせ)、藤原 涼・荒瀬 美佳(クラリネット)
小路 桂(ピアノ)
会場 大阪市立難波市民学習センター 講堂 参加者数 20人

4

5

9/27・10/25(土) 13:30～15:30
いつまでも元気に!おとなの体操教室①②(連続講座)

講師 前濱 樹香、川田 真綺、春 江すず、鈴木 笙平(理学療法士)
藤原 涼(クラリネット)、小路 桂(ピアノ)
会場 ①大阪市立阿倍野市民学習センター スタジオ 参加者数 のべ13人
②大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂

6

11/29(土) 12:00～12:45
0才からのコンサート
泣いても動き回っても大丈夫!ゆりかごコンサート vol.2

講師 藤原 涼・荒瀬 美佳(クラリネット)
小路 桂(ピアノ)、山崎 啓妙(司会)
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂 参加者数 54人

7

11/29(土) 14:30～15:30
0才からのコンサート
クラシックって意外とおもしろい!
トークで楽しむコンサート

講師 藤原 涼・荒瀬 美佳(クラリネット)
小路 桂(ピアノ)、山崎 啓妙(司会)
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂 参加者数 2人



参加者の声

- 子どもが歩き回っても大丈夫で生の演奏を聴けることがよかった。絵本の読み聞かせに音楽が入っているのもよかった。(第3回)
- 体もほぐれ、音楽で癒されて、ダンスも楽しく笑いがありました。(第4回)
- 生演奏を聴く機会を与您いただきありがとうございました。子どもは走り回っていましたが、音に合わせて踊っていて楽しそうでした。ありがとうございました。(第6回)

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

各講座に担当者(中心となって企画する人)を決めることで、分業を図るだけでなく、さまざまな発想が生まれるように工夫した。

事業全体の計画、学習内容・形態について

さまざまなジャンルとコラボした音楽イベントにすることで、「音楽文化振興」という軸をもちながらも参加対象者の幅を広げることができると考えた。できるだけ音楽イベント参加へのハードルを下げられるようにするため、身近な会場・低コストで参加できるよう企画した。

地域や他団体・組織との連携について

若手音楽家の活躍の場を提供するため、今回は大阪で活躍する若手音楽家に出演を依頼した。また、団体構成員のネットワークを利用し、地域の保育園や同様のイベントでの広報活動も行った。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

今回の事業はかなり挑戦的なものが多く、実際あまり需要がなかったと感じざるを得ないものも多くあったが、逆に何が求められているのかがよくわかったと感じている。特に、絵本の読み聞かせのコンサートやゆりかごコンサートなど親子向けの音楽イベントへの反応がよく、0歳児の子どもを持つ親子の参加も多く見られることから、普段の演奏会には足を運びにくい層からの需要が高いと考えられる。このような活動を続けることで音楽文化の発展に貢献できるだけなく、近年問題になっている親子を取り巻く課題の解決にも繋げることができると思う。

● 今後の課題と展望

今回、運営として反省すべき点は非常に多かった。特に、団体構成員が少なく、構成員全員が本事業にかけられる時間があまり多くなかった中で、幅広いジャンルのイベントを複数回開催することはかなり厳しい状況であった。準備が遅れたことで広報活動などにも悪影響を及ぼし、申込者が少ないことにもつながったと考えられる。

今後は今回感じた需要の高さをふまえ、親子向けの音楽イベントの開催に取り組んでいきたい。

Germoglio

活動目的

幅広い年齢層を対象としたさまざまなジャンルの音楽イベントを開催するなど、気軽に音楽に触れることができる機会を提供することを目的としている。「Germoglio」とはイタリア語で「芽、蕾」という意味で、「音楽に興味をもってもらうきっかけ作り(種まき)をしたい」という思いを込めている。

活動紹介

大阪教育大学大学院にて音楽の普及活動について研究を行っていたクラリネット奏者・荒瀬美佳を中心に発足。大阪を中心に「お気軽&お手軽」な音楽イベントを主催するほか、小学校や地域の施設でのアウトリーチ活動を行っている。SAYAKAホール(大阪狭山市)「アーティストアーカイブス」登録団体。

活動開始時期

2025年1月

団体構成員数

5人

SNS

<https://www.instagram.com/germoglio2024/>



みんなで学んで・考える ～多文化共生のまちづくり講座～

特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっと

事業の
ねらい

多様な人々がお互いに尊重しあう「多文化共生」のまちづくりを行うため、それを阻む「社会的要因」について一人ひとりの住民が学び、主体的な行動を起こすきっかけとなる講座を開催する。

対象

地域住民などのおとな

定員

各回30人

申込
者数

87人

参加
者数

71人

1

7/19(土) 10:00～12:00

外国ルーツの住民とにほんごで話すとき

講師 澤田 幸子(合同会社 おおぞら日本語サポート 副代表、日本語教師)

会場 いくのコーライズパーク2階 IKUNO・多文化ふらっと事務所

参加者数 31名



2

10/18(土) 10:00～12:00

「社会モデル」で考える

講師 松波 めぐみ(大阪公立大学 特任准教授)

会場 いくのコーライズパーク2階 IKUNO・多文化ふらっと事務所

参加者数 21名



3

1/17(土) 10:00～12:00

「性の多様性から『じぶん』について考える」
～誰もが排除されない社会をめざして
子どもたちとの出会いからみえてきたこと～

講師 田中 一步・近藤 孝子(にじいろi-Ru (アイル))

会場 いくのコーライズパーク2階 IKUNO・多文化ふらっと事務所

参加者数 19名



参加者の声

- 「やさしい日本語」がなぜ必要なのか、どうしたら「やさしい日本語」になるのかがよくわかりました。
- 今回、自分の中にマイノリティ、マジョリティが存在していることを改めて感じた
- 合理的配慮という言葉について、理解が深まりました。
- 今まで意識せずにいたことを、考えさせられた。
- 自分がなにができるかを改めて考えることができました。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

- ・運営体制:事務スタッフ1名、当日の運営スタッフ2名の体制で行った。
- ・大阪市立生涯学習センターによるチラシの配架に間に合うように講師と事前打ち合わせを行った。

事業全体の計画、学習内容・形態について

- ・実際の活動に活かせるように、実践的なテーマ設定を行った。
- ・当日会場参加できない参加者に対しては、後日の録画配信を行った。(講座3回中2回)

地域や他団体・組織との連携について

生野区社会福祉協議会にチラシ配架を依頼し、生野区学童期子ども支援連絡会や、近隣の小学校PTA役員会、近隣の保育園などへもチラシ配布を依頼したことで、地域住民(地域の保護者)の参加につながった。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

計3回の講座を行い、71名が参加した。生野区には多様な人々が暮らしているが、当事者の前にある「日常で生じる壁」について学び、その「壁」の解消のためにまちで暮らす一人ひとりができることについて考える機会となった。アンケート回答者の「講座の満足度」は、「大変良かった」「良かった」を合わせて97%、「講座で学んだことを活かしてボランティア活動に参加したいか」という質問には「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて94%であり、講座の開催によって、参加者の学びを深め、市民活動参加を促す契機となった。

● 今後の課題と展望

企画には毎回たくさんの応募があり、関心の高さがうかがえた。継続的な講座実施をめざし、マンパワー的にも無理のない運営体制を検討していく。また、今後はより若い世代に参加してもらえるような仕組みづくり(広報・日時の設定など)を工夫していく。

特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっと

活動目的

大阪市生野区は、区民の4人に1人が外国籍住民であり、今や80か国以上のルーツを持つ外国人が暮らす多国籍・多文化のまち。しかし子どもを含め外国人の人権保障に関しては厳しい現実と壁が立ちはだかっている。そこで一人ひとりがうちに秘めている可能性を自信をもって、安心して、自由に伸ばせる地域環境をつくり日本人も外国人も誰もが暮らしやすいグローバルタウンの実現をめざし、団体を設立した。

活動紹介

子どもの学習支援、こども食堂事業開始、多言語相談支援事業など、外国ルーツの子どもたちを含む地域の子どもたちへの事業を中心に、多くの多様で多世代のボランティア、保護者等地域を巻き込む事業運営を通して多文化共生のまちづくり実践を行っている。

活動開始時期

2019年6月

団体 構成員数

21人

HP

<https://www.ikunotabunkaflat.org/>

SNS

<https://www.facebook.com/ikunotabunkaflat>

連絡先

info@ikunotabunkaflat.org



シニアだってポジティブな心を持ってもいい。 若者と共に創るポジティブデザインプログラム

特定非営利活動法人希望の居場所

事業の
ねらい

ポジティブデザインプログラムによりシニアの市民がポジティブになり、健康寿命が延びていくことが期待される。シニアが積極的に社会参加することにより地域が元気になることをねらいとする。

対象 どなたでも

定員 各回による
(30~100人)

申込者数 169人

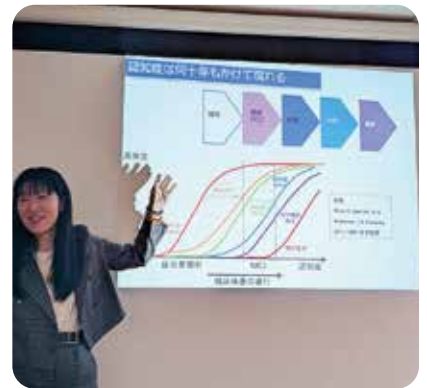
参加者数 160人

1

7/17(木) 18:30~21:00
シニアと若者との共創

講師 元橋 智彦
(健康運動指導士/NESTAストレンクス&コンディショニングスペシャリスト/
GENKI BRIDGE合同会社 代表)

会場 大阪市立総合生涯学習センター 第3研修室 参加者数 23名



2

10/30(木) 18:30~21:00
ポジティブシニアになるために知っておくこと

講師 清水利江子(健康運動指導士/管理栄養士)

会場 大阪市立総合生涯学習センター 第3研修室 参加者数 23人

3

11/20(木) 18:30~21:00
「治す」から「活かす」へ。医療がつなぐ、世代共創の未来。

講師 佐藤堯希(住友病院 整形外科医師)

会場 大阪市立総合生涯学習センター 第3研修室 参加者数 23人



4

12/18(木) 18:30~21:00
つくる
共創の先にある、あたたかな地域社会

講師 奥 知久(おく内科・在宅クリニック 院長/地域包括ケア研究所 所長
/大阪警察病院 特任医長(非常勤)/KISA2隊 大阪事務局長)

会場 大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室 参加者数 57人

5

1/15(木) 18:30~21:00
認知症予防とポジティブデザイン

講師 歌丸 和見((一社)認知症予防活動コンソーシアム 代表理事
/(一社)ミニらいとモルック協会 理事/日本成人病予防協会 専任講師)

会場 大阪市立総合生涯学習センター 第2研修室 参加者数 34人



参加者の声

- ポジティブシニア、いいですね！これからの生活に活かしていきたい。
- 母86歳、私60歳、一緒にええ塩梅で生きていきたいと思います。今後とも情報提供よろしくお願いします。
- 自分には、デュアルタスク運動が必要だと思った。バランス食の食べ方の方法が分かりやすかった。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

6月28日に大阪・関西万博に「健康寿命を延ばす居場所づくり」をテーマに出展し、その流れで運営体制を構築した。賛同する若い仲間が増えて、助かった。

事業全体の計画、学習内容・形態について

講師の方々に参加者の年齢層が幅広いので、ポジティブになるセミナーになるようお願いした。それ故に、運動の実践や腰痛などの対策レクチャーや、ゲームによる交流などで楽しく前向きになるよう工夫した。

地域や他団体・組織との連携について

都島区での活動や万博出展でつながった方がセミナーに多く参加した。それに伴い当団体を知ってもらう機会となり、そこから多方面のご縁が広がった。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

健康運動指導士2名、医師2名、認知症予防の代表理事による5回の講演を行い、フレイル予防や健康寿命を延ばすための運動や考え方、実践方法を学んだ。専門的な内容を身近な事例で伝えることで、参加者がポジティブに日常生活に取り入れやすい学びの場となった。

● 今後の課題と展望

理事長の世代交代を行い、組織運営の継続性と新たな発展の両立が課題となった。創設期の理念や地域との信頼関係をいかに継承するかに加え、役割分担や意思決定プロセスの明確化が求められている。一方で、次世代の視点を生かした事業の再構築や外部連携の強化により、活動の持続性と社会的価値の向上が期待される。

特定非営利活動法人希望の居場所

活動
目的

高齢者・子ども・地域住民が集い、栄養・運動・社会参加を軸に、世代を超えて支え合いながら、健康寿命を延ばし、一人ひとりの可能性を活かす居場所を地域に創出することを目的とする。

活動
紹介

地域で高齢者のフレイル予防を中心に、大人食堂、健康運動教室、こども食堂を運営し、栄養・運動・社会参加を通じた多世代交流と健康づくりの場を継続的に提供している。

活動開始
時期

2020年3月

団体
構成員数

77人

HP

<https://www.1000c.jp>

連絡先

06-7175-4748



子どもと本をつなぐストーリーテリング (楽しいおはなし)

おはなしボランティア アナнси

事業の
ねらい

音楽と読書のコラボレーション事業を開催し、本に触れる機会の少ない人や、ストーリーテリングを聞いたことのない人の参加を促す。たくさんのお阪市民が子どもの読書推進に興味を持ち、次代を担う子どもたちにおはなしを届ける文化の灯を絶やすことのない環境づくりに努めたい。

対象 大人

定員 各回15人、
11回のみ50人

申込
者数 130人

参加
者数 132人

1 ~ 10

7/11・25、8/22・29、
9/12・26、10/3・24、
11/7・28(金) 14:00~16:00

コーラス教室①~⑩

講師 中野育子(声楽家)

会場 ①~⑥・⑧~⑩大正区ふれあい福祉センター
⑦大正区コミュニティセンター

参加者数 のべ70人



11

12/6(土) 14:00~15:30

音楽とおはなし

講師 中野 育子(声楽家)、重野 尚美(ピアニスト)、
吉次 友里衣(ピアニスト)、山本 博弘(ピアニスト)
中尾 幸(竹の子文庫主宰)

会場 大正区コミュニティセンター

参加者数 40人



12

13

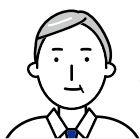
12/12・1/30(金) 14:00~16:00

ストーリーテリング入門講座①②

講師 中尾 幸(竹の子文庫主宰)

会場 大正区コミュニティセンター

参加者数 のべ22人



参加者の声

- おはなしがとてもよかった。
- 初めて参加したが、楽しく過ごせた。
- 内容が充実していてよかった。

学 習 の 総 括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

講座等、事業開催は、15年ほど毎年継続しているのも、実行委員会等、作らなくてもチラシ配布、事業周知は、いつもの感じで、メンバーが各自行った。

事業全体の計画、学習内容・形態について

歌を歌うことで、学んでいる感覚がないまま、楽しくボイストレーニングができたと思う。また、音楽とおはなしで、今までの成果を発表でき、達成感が得られる事業だった。

地域や他団体・組織との連携について

大正区社会福祉協議会の協力を得て、会場を提供していただいた。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

コーラスを受講し、ストーリーテリングに移行した人はいなかったが、全くストーリーテリングを知らない受講生が、子どもと本をつなぐ方法として、ストーリーテリングがあることを知る良い機会になった。音楽とおはなしは、来年度以降も継続して開催し、子どもの読書推進活動への地域の参加を促したい。

● 今後の課題と展望

子どもにとって読書はとても重要である。子どもに本を与えても、読んでくれる人がいないと、子どもの読書につながらない。なので、子どもと本をつなぐボランティアは必要不可欠である。ところが最近、ボランティアの高齢化が進んでおり、事業開催するにも人手が足りない。若い方の参加が期待できる子どもの読書推進活動に変化させていきたい。

おはなしボランティア アナシ

活動目的 子どもたちが心豊かに健やかに成長することを願う人々が、お互いに立場を尊重しながら手を結び考えあい、次代を担う子どもたちの読書推進のため活動する。

活動紹介 毎年、関西圏の子どもと本をつなぐボランティアのスキルアップ講座を行っている。
地域での活動は、大正図書館にて、第2、4、5土曜日14時～14時30分にお楽しみ会、保育所、小学校いきいき、小学校授業で、ストーリーテリングの会を行っている。

活動開始時期 2004年9月

**団体
構成員数** 11人

連絡先 080-3835-7230(おはなしボランティア アナシ 福元)



子ども食堂併設 café*nico*

一般社団法人ニコウェイ

事業の
ねらい

子ども食堂に来てくれている子ども達にワークショップを実施することで、何かに興味を持って学びたいと思ってもらえるようなきっかけを作ることが事業のねらいである。普段はなかなか学びの機会を持つことができない状況の子ども達も、無料で開催することで気軽な気持ちで参加できたらいいなと考えている。

対象 どなたでも

定員 各5~8人

申込者数 55人

参加者数 ワークショップ61人
(大人1人・子ども60人)

1

7/20(日) 10:00~11:00

夏休みの工作に!木のロボットを作ろう!

講師 Mellow(ハンドメイド雑貨店)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

2

7/20(日) 12:00~13:00

アイスなけん玉を作ろう!

講師 堤添 祥子(びよん吉文庫)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 12人

3

9/21(日) 11:00~14:00(うち1時間)

子ども食堂の縁日でお店やさん体験♪

講師 子ども食堂併設café*nico*

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

4

9/21(日) 10:00~11:00

めじるしチャーム作りワークショップ

講師 橋村 珠実(書家・イラストレーター)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

5

9/21(日) 12:00~、12:30~(各30分)

キレイは指先から♡大人も、キッズも!

講師 関本 もえの(先生ときどきネイリスト)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 6人

6

11/16(日) 11:00~13:00(うち1時間)

子ども食堂の縁日でお店やさん体験♪

講師 子ども食堂併設café*nico*

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

7

11/16(日) 10:00~11:00

子どもと一緒に木のロボットを作ろう!

講師 Mellow(ハンドメイド雑貨店)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

8

11/16(日) 12:00~13:00

めじるしチャーム作りワークショップ

講師 橋村 珠実(書家・イラストレーター)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

9

1/18(日) 10:00~11:00

お風呂時間が楽しくなる[happy バスボム作り]

講師 古木 ちえこ(エッセンシャルオイルスタイリスト)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 5人

10

1/18(日) 12:00~13:00

ちいさなおカリナに絵をかこう♪

講師 堤添 祥子(びよん吉文庫)

会場 ぐるぐるそだつながや 参加者数 8人



参加者の声

- 子ども店長やワークショップなど、子どもにたくさん経験させてもらい、ありがとうございます!
- ワンオペの日に、ワークショップも食事もとても助かります



学習の総括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

地域と子どものいる家庭につながりができるような運営体制とした。また、スタッフ間でも毎回のアンケートや情報を共有して意見を取り入れながら組織作りをしている。

事業全体の計画、学習内容・形態について

プログラムの内容は、各講師の方と相談しながら、子どもだけが楽しめるものではなく、親子で参加しても楽しいような内容や、その日で学び切るといよりも何かに興味を持つためのきっかけになるようなプログラムを考えている。

地域や他団体・組織との連携について

地域との連携としては、引き続き町会に協力いただき、回覧板や掲示板でのイベント告知をしていただいている。また、前年度にワークショップで参加いただいた日本語学校の留学生たちがボランティアとして参加してくれている。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

回を追うごとに、カレーの配食数の無料分(中学生以下)の割合が増えてきており、フードパントリーを心待ちにされているという声も多く、物価高騰による現状の厳しい状況を感じている。その中で無料のワークショップを実施できていることで、子どもの学びのきっかけ作りや親子で一緒に楽しめる機会を作れているという実感を得ている。

● 今後の課題と展望

町会に入っておらず回覧板を見ない状況の家庭や、孤立していて人伝いにも子ども食堂の開催情報を知ることのない家庭に、どのようにアプローチしていくかが今後の課題である。また、展望としては今までのワークショップに参加した子どもたちが、教える側となって初参加の子どもにやり方を教えることで、教わるばかりでは感じられない新しい学びがあるのではと考えている。

一般社団法人ニコウェイ

活動目的

コロナが流行り、子どもが楽しめるイベントや地域交流の場が激減したタイミングで活動をスタートし、地域社会と一緒に子どもを育てるようなコミュニティを確立し、家庭内で孤立せず、安心して子育てができる地域となることを活動目的としている。

活動紹介

2021年から2ヶ月に1度のペースで子ども食堂イベントを開催し、毎回平均120食ほどのカレーを中学生以下は無料で提供し、その他にワークショップやフードパントリー、縁日、絵本の読み聞かせなど、親子で楽しみ、地域の方々が交流できるようなイベントとして定着しつつある。2022年からは、1ヶ月に1度のペースで放課後学習支援を行っており、学校が終わってからの時間を一人で過ごすことの多い子どもが利用している。主に宿題のフォローを行い、温かい夕食と一緒に楽しく食べて過ごす活動を行っている。

活動開始時期

2021年7月

HP <https://r.goope.jp/nicoway/>

団体構成員数

15人

SNS https://www.instagram.com/cafe_nico_kodomosyokudou/



親子で学ぼう！ 大切な性とからだのこと

性と身体を考えるネットワーク

事業の
ねらい

「自分のからだは自分のもの」「プライベートパーツ」「同意の大切さ」などをおかたやぬり絵、ペーパークラフトなどの遊びやワークを通して学ぶ。親子で一緒に、楽しく包括的性教育に触れ、お家での対話に繋いでいく。

対象

年少から
小学校中学年と
保護者

定員

①⑤30人程度
②③④⑥各15組
(30人)

申込
者数

194人

参加
者数

130人
(子ども66人)

1

8/3(日) 13:00~16:00
特別回 夏休み企画 親子で学ぼう！
～いっしょに楽しく性教育～

講師 性と身体を考えるネットワーク スタッフ
SAP子どもサポートセンター スタッフ
会場 あべのハルカス17階ロビーフロア 多目的スペース[soranosu]
参加者数 32人

2

9/14(日) 13:30~15:30
第1回 親子で学ぼう！
～じぶんのからだはじぶんのもの～

講師 性と身体を考えるネットワーク スタッフ
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター
参加者数 30人

3

10/12(日) 13:30~15:30
第2回 親子で学ぼう！
～大切なプライベートパーツのお話～

講師 性と身体を考えるネットワーク スタッフ
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター
参加者数 24人

4

11/9(日) 13:30~15:30
第3回 親子で学ぼう！
～あなたを守る、透明バリア～

講師 性と身体を考えるネットワーク スタッフ
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター
参加者数 12人

5

12/14(日) 13:00~16:00
特別回 冬休み企画 親子で学ぼう！
～いっしょに楽しく性教育～

講師 性と身体を考えるネットワーク スタッフ
SAP子どもサポートセンター スタッフ
会場 あべのハルカス17階ロビーフロア 多目的スペース[soranosu]
参加者数 23人

6

1/11(日) 13:30~15:30
第4回 親子で学ぼう！
～心とからだを大切にするために～

講師 性と身体を考えるネットワーク スタッフ
SAP子どもサポートセンター スタッフ
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター
参加者数 9人



参加者の声

- 遊びを通じて性教育を受けるのは子どもがとても興味津々だった。大人としても勉強になった。
- 今まで、子どもの意見や気持ちをあまり聞かず指示するように会話してしまっていたなと思いました。
- 周りにこういった講座がなかったので、大変ありがたいです。お家でも活かしてみたいです。

学習の総括



● 事業実施にあたっての工夫

事業実施体制・組織づくりについて

性教育や子どもへの暴力防止講座の講師経験が豊富なスタッフが内容を担当し、専門的知見に基づいた運営体制を構築した。内部で人権意識を共有し、親子が安心して参加できる心理的安全性の確保に努めた。

事業全体の計画、学習内容・形態について

かるたやペープサート、読み聞かせ等の遊びを通じ、五感で「同意」や「境界線」を学ぶ体験型ワークを実施した。講義形式を最小限に抑え、親子が対等な立場で対話するワークショップ形式をとることで、家庭での実践を促す工夫をした。

地域や他団体・組織との連携について

近隣の幼稚園や保育園、子ども食堂と連携し広報を展開した。また、外部機関と協力し、地域全体で子どもを支える継続的な支援体制の構築に努めた。

● 事業の成果(地域の課題や現代的課題、社会的課題の解決につながったか等)

本事業により、子どもは「自分のからだは自分だけのもの」という意識を育み、同意の大切さを学んだ。人との心地いい距離を考え、他者との違いを知ること、自他を尊重する意識が向上した。保護者は性教育へのハードルが下がり、実践する自信を得た。これは、性被害加害の防止や多様性の尊重という現代的課題の解決に直結する。包括的性教育を通じ、地域で子どもの権利を守る土壌を築く有意義な機会となった。

● 今後の課題と展望

発達段階による伝え方の差や、体調等による連続講座への参加の難しさが課題となった。今後は対象を細分化し、欠席時のフォローアップ体制を整えたい。特に、思春期を迎える高学年層へ向けた親子講座の拡充を展望している。地域の教育機関等と連携を深め、包括的性教育が社会の共通認識として定着する仕組み作りを推進する。全ての子どもが自分を大切に、尊重し合える地域社会の実現へ繋げていく。

性と身体を考えるネットワーク

活動目的

性とからだについて、あらゆる角度から語り合い、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを一人ひとりのものとして位置付けること。そのために何が必要で、何が妨げになっているのかを明らかにし、より多くの子どもや子どもを取り巻く大人たちに学んでいただける機会を設けることを目的としている。

活動紹介

性と身体を考えるネットワーク(愛称:せとか)は、「じぶんのからだはじぶんのもの」「包括的性教育の普及啓発」「性教育でつながる・つながる・ひろがる」の3点を大切に活動している。自他のかげがえのなさを知るため、遊びやワークを用いた体験型講座を実施。子どもを性被害・加害や暴力から守り、自己肯定感を育めるよう、また、性教育で地域を繋ぎ、誰もが尊重され自分らしく生きられる社会をめざし、活動している。

活動開始時期

2001年3月

HP <https://lit.link/setokanet>

団体構成員数

5人

連絡先 Mail : setoka-net@outlook.jp TEL : 06-6632-7011

中間交流会

令和7年8月23日(土) 10:00~12:00

実施団体同士の交流を目的として、各団体の活動紹介を行った後、グループにわかれて「活動で困っていること」をテーマに話し合い・情報共有をおこないました。



参加団体の感想・コメント

- 皆さんとざっくばらんに話すことができた。質問いただくことや、他の参加者同士のやりとりから学ぶこともあった。
- 色々な内容の活動、それぞれの工夫や困っていることを知ることができ、私自身の活動に活かしたいと思える部分がたくさんあった。
- 交流機会はとても良かったです。知人の知人は共通知人ということもあり、楽しかったです。

実施報告会

令和8年2月28日(土) 10:00~12:00

今年度の実施事業について各団体より報告を行い、今後の活動について有識者よりアドバイスをいただきました。



参加団体の感想・コメント

- 有識者の先生方や他団体から話を聞くことができ、とても有意義な時間となりました。
- 各団体の活動状態、今まで知らなかったこと、共通の問題などを知ることができました。今後の役に立ってしたいと思います。

大阪市「市民学習プログラム企画」 助成事業募集について

大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業の募集の案内は、総合生涯学習センターのホームページ・SNSや、大阪市内の市民学習センター・区役所・区民センター・図書館等で配架予定の募集パンフレットをご覧ください。

※令和7年度より大阪市NPO・市民活動企画助成事業から事業名称が変更となりました。

大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業ホームページ

<https://osakademanabu.com/josei/>



大阪市立総合生涯学習センター SNS

<https://www.facebook.com/sougoullc/>



Facebook

https://www.instagram.com/sougou_llc_umeda/



Instagram

<https://line.me/R/ti/p/%40090wcmun>



LINE

令和7年度 大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業 事業実施の流れ[実績]

- 募集受付…………… 令和6年12月1日(日)～令和7年2月5日(水)
- 個別相談…………… 令和6年12月1日(日)～令和7年1月31日(金)
- 有識者会議…………… 令和7年3月19日(水)
- 実施団体への説明会…………… 令和7年4月12日(土)
- 事業の実施…………… 令和7年7月1日(火)～令和8年1月31日(土)

【助成団体の取り組み】

- ・企画・実施の準備
- ・チラシの作成・広報、受講者募集の受付
- ・講座等の実施
- ・アンケート回収
- ・報告書類の作成・提出

【総合生涯学習センターの支援】

- ・実施経費の助成(委託対象経費の75%以内で上限20万円まで)
- ・「いちよう並木」や「いちようネット」への記事掲載などの広報協力
- ・総合生涯学習センターや阿倍野・難波の市民学習センターの会場確保
- 中間交流会の開催…………… 令和7年8月23日(土)
- 報告会の開催…………… 令和8年2月28日(土)

お問い合わせ



大阪市立総合生涯学習センター

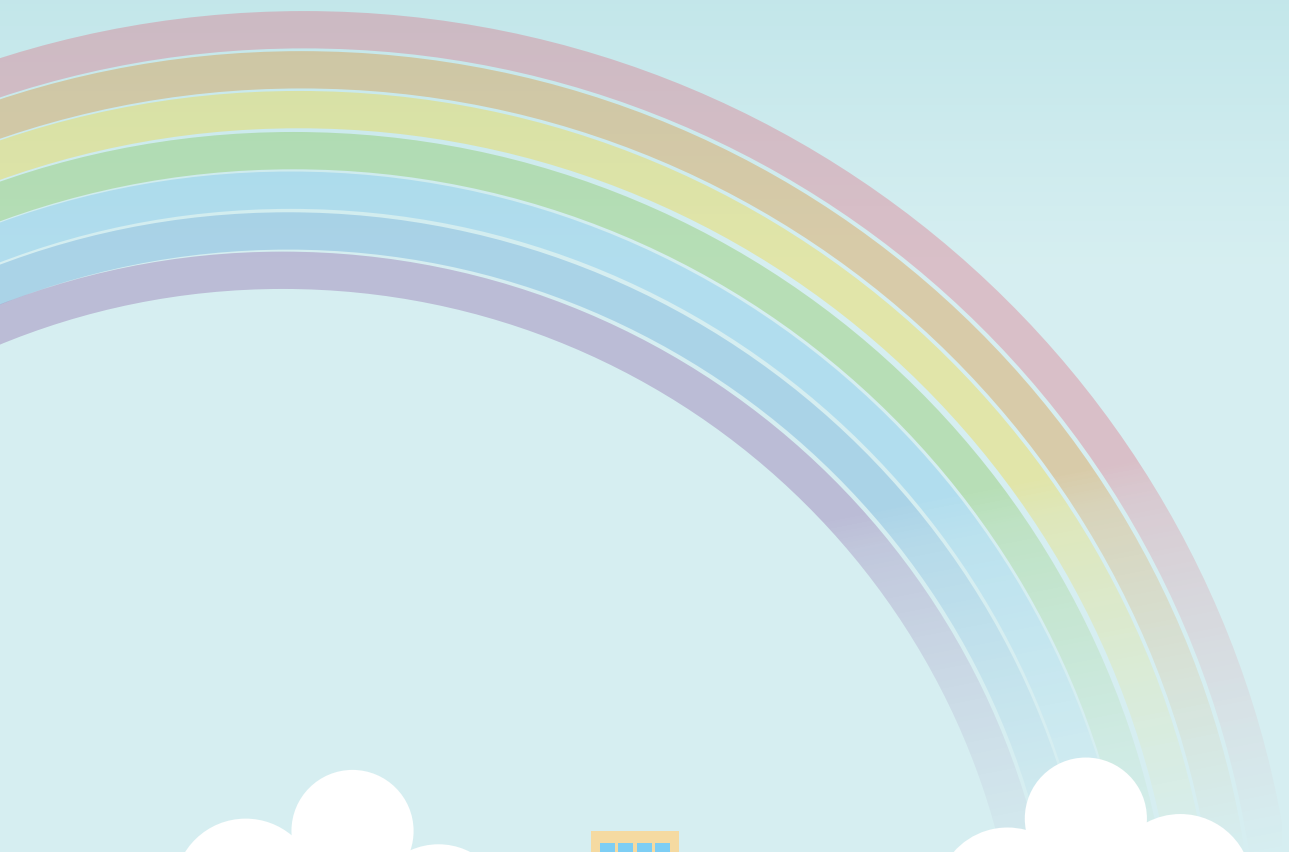
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 (大阪駅前第2ビル5・6階)
TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019
<https://osakademanabu.com/umeda/>

開館時間 午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)
休館日 毎月第1・第3月曜日/年末年始(12月28日～1月4日)

令和7年度 大阪市「市民学習プログラム企画」 助成事業 報告書

編 集 大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:一般財団法人大阪教育文化振興財団)
大阪市北区梅田1-2-2-500

発 行 大阪市教育委員会
発行日 令和8年3月



大阪市教育委員会

大阪市立総合生涯学習センター

(指定管理者: 一般財団法人大阪教育文化振興財団)